

趣意書

国立大学法人九州大学におきましては、平成29年度文部科学省予算における新規事業「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」への採択を契機として、地域イノベーションを担う人材育成のための新たなプログラムに取り組みたいと考えております。貴社におかれましては、下記の趣旨にご賛同いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター
センター長 谷口博文

記

1. 経緯

九州大学は平成26年度から文部科学省科学技術・学術政策局によるグローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGEプログラム）の採択機関として、ベンチャー創業や新事業創出を促進する人材育成とベンチャーエコシステムの構築を推進してきました。この事業は日本ニュービジネス協議会など産業界からも一定の評価を得て28年度で終了しましたが、まだ起業家マインドをもった人材が実際に起業や新規事業開発を行い、経済成長を牽引するような環境が構築されたとはいえない状況です。

そこで文部科学省では29年度から5年間の事業として、「次世代アントレプレナー育成事業」（EDGE-NEXT：Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation）を実施し、EDGEに採択された13大学を中心に大学、海外機関、民間企業、自治体などによるネットワークを形成して、学部生から大学院生、若手研究者、社会人まで参加可能な、より実践的なプログラムの構築を目指すとしています。

この新規事業に採択されたのは、全国で九州大学のほか、東京大学、東北大学、早稲田大学、名古屋大学の5機関であり、九州大学としてはこれまで培ったアントレプレナーシップ教育の実績をもとに立命館大学等と協力してさらに実践的なプログラムを開発するとともに、自治体、産業界、経済団体、金融機関等とも連携を図って、地域エコシステムの構築に貢献する考えです。

2. 九州大学において実施するプログラムの例

- ・ アントレプレナーシップ米国セミナー
米国・ボストンとシリコンバレーにおいて、多国籍チームを作り、ハーバード、MIT、バブソン、スタンフォード等の大学、アクセラレータ、ベンチャーキャピタルの協力のもと、実践的にスタートアップ創業を体験する。
- ・ 九州大学起業部
本気で起業したいと考える学生の受け皿としてサークル活動的な場を設け、ビジネスプランコンテストへの出場支援、メンタリング、VCとのマッチングなどを行い、指導教員のもとでより実践的に起業を学ぶ。
- ・ ベンチャーライフチャレンジ
チャルマース大学等からの学生とチームを作り、福岡、関西の企業の協力のもとスタートアップの現場で、実践的課題解決能力の実装を目指す。

3. EDGE-NEXT 補助金交付のための条件

九州大学を主幹機関とする IDEA コンソーシアム（協働機関は立命館大、大阪府立大、奈良先端科学技術大学院大）には年間約 5000 万円程度の補助金が交付される予定ですが、そのためには一定の外部資金導入を条件としており、今後 5 年間で約 7000 万円の外部資金を見込む必要があります。

4. 寄付のお願い

九州大学ではロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター（QREC）をハブとして、福岡市、FDC、経済団体等とも連携しながら、チャレンジ精神旺盛な地域イノベーションを担う人材を育成するとともに、この地域のベンチャーエコシステムを構築するため、全国のアントレプレナーシップ教育の先端的役割を担いつつ地域に貢献したいと考えております。

貴社におかれましては、私どもの期するところにご理解を賜り、所要の外部資金の一部についてご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上